

### 4.2.3 健康教育プログラム授業【6年③保健学習(3/4) 平成27年1月22日3校時】

#### I 授業構成資料

- (1) 目標 自分たちの運動習慣パターン表の集計や様々なデータとの比較を通して、運動の大切さを理解することができる。  
 (思考・判断)
- (2) 展開

学習内容 ・発問や指示	学習活動 予想される児童の反応	・活用資料																																													
1 前時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平均寿命を伸ばすためには何が大切だったかな。</li> <li>○毎日ごはんをバランスよく食べる。</li> <li>○適度な運動をする。</li> <li>○塩分を取り過ぎない。</li> <li>○野菜をたくさんとる。</li> </ul>	<p>・科学的データの活用①</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">6年1組の運動の様子(平均)</th> </tr> <tr> <th>曜日</th> <th>歩行数</th> <th>活動量</th> <th>運動時間</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月</td> <td>10,925</td> <td>1,932</td> <td>59</td> <td></td> </tr> <tr> <td>火</td> <td>10,941</td> <td>1,892</td> <td>69</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>12,827</td> <td>1,951</td> <td>105</td> <td>体育(45分)</td> </tr> <tr> <td>木</td> <td>10,325</td> <td>1,905</td> <td>58</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金</td> <td>10,359</td> <td>1,881</td> <td>59</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土</td> <td>6,891</td> <td>1,792</td> <td>41</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日</td> <td>6,194</td> <td>1,776</td> <td>35</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	6年1組の運動の様子(平均)					曜日	歩行数	活動量	運動時間	備考	月	10,925	1,932	59		火	10,941	1,892	69		水	12,827	1,951	105	体育(45分)	木	10,325	1,905	58		金	10,359	1,881	59		土	6,891	1,792	41		日	6,194	1,776	35	
6年1組の運動の様子(平均)																																															
曜日	歩行数	活動量	運動時間	備考																																											
月	10,925	1,932	59																																												
火	10,941	1,892	69																																												
水	12,827	1,951	105	体育(45分)																																											
木	10,325	1,905	58																																												
金	10,359	1,881	59																																												
土	6,891	1,792	41																																												
日	6,194	1,776	35																																												
2 自分たちの運動習慣を知る。(科学的データの活用①)		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">6年1組の運動の様子(平均)</th> </tr> <tr> <th>曜日</th> <th>学校</th> <th>放課後</th> <th>昼休み</th> <th>体育</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月</td> <td>7,318</td> <td>3,607</td> <td>1,350</td> <td></td> </tr> <tr> <td>火</td> <td>7,021</td> <td>3,920</td> <td>1,422</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>7,214</td> <td>5,613</td> <td>665</td> <td>1,793</td> </tr> <tr> <td>木</td> <td>6,349</td> <td>3,976</td> <td>(観劇)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金</td> <td>6,514</td> <td>3,845</td> <td>779</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	6年1組の運動の様子(平均)					曜日	学校	放課後	昼休み	体育	月	7,318	3,607	1,350		火	7,021	3,920	1,422		水	7,214	5,613	665	1,793	木	6,349	3,976	(観劇)		金	6,514	3,845	779											
6年1組の運動の様子(平均)																																															
曜日	学校	放課後	昼休み	体育																																											
月	7,318	3,607	1,350																																												
火	7,021	3,920	1,422																																												
水	7,214	5,613	665	1,793																																											
木	6,349	3,976	(観劇)																																												
金	6,514	3,845	779																																												
3 学習課題を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日は運動について考えてみます。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">自分たちの運動について見直してみよう。</div>	【課題把握：身近さ、多様性】																																													
4 自分たちの運動習慣を知り、気付いたことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの週間運動パターン表の集計を見て、グループで話合い気付いたことを発表しましょう。</li> <li>○日によって歩数にばらつきがある。</li> <li>○平日は1万歩を超えてるが、休日は平日の半分くらいしか歩いていない。</li> <li>○体育がある日はない日に比べて歩数が増えている。</li> <li>○休み時間や放課後に遊ぶと歩数も増えている。</li> </ul>	<p>・科学的データの活用②</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">子どもの身体活動・運動の目標</th> </tr> <tr> <th>WHO(世界保健機関)</th> <th colspan="4"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日60分の歩数から高強度の身体活動を行うこと その中に高強度の運動を少なくとも週3回以上含める</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>*中等強度から高強度の身体活動とは…</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>*中等強度の身体活動→歩行、速歩、ラジオ体操、卓球、野球、トッポボールなど</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>高強度の身体活動→ジョギング、ランニング、サッカー、縄跳び、スキーなど</td> <td colspan="4"></td> </tr> </tbody> </table>	子どもの身体活動・運動の目標					WHO(世界保健機関)					1日60分の歩数から高強度の身体活動を行うこと その中に高強度の運動を少なくとも週3回以上含める					*中等強度から高強度の身体活動とは…					*中等強度の身体活動→歩行、速歩、ラジオ体操、卓球、野球、トッポボールなど					高強度の身体活動→ジョギング、ランニング、サッカー、縄跳び、スキーなど																			
子どもの身体活動・運動の目標																																															
WHO(世界保健機関)																																															
1日60分の歩数から高強度の身体活動を行うこと その中に高強度の運動を少なくとも週3回以上含める																																															
*中等強度から高強度の身体活動とは…																																															
*中等強度の身体活動→歩行、速歩、ラジオ体操、卓球、野球、トッポボールなど																																															
高強度の身体活動→ジョギング、ランニング、サッカー、縄跳び、スキーなど																																															
5 データと比較する。(科学的データの活用②)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生の平均歩数や目標値、活動量のデータと自分たちの運動習慣とを比較して、気付いたことを発表する。</li> <li>○目標の歩数は1万歩だから、自分たちは目標を達成している。</li> <li>○東京都の目標は1万5千歩だ。しかも、自分たちよりも歩数も多いし活動量も高い。</li> <li>○体育や遊びの種類によって歩数も変わってきてている。</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">子どもの身体活動・運動の目標</th> </tr> <tr> <th>日本体育協会</th> <th colspan="4"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最低1日に総計して60分以上、歩数で1万歩以上</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <th>東京都</th> <th colspan="4"></th> </tr> <tr> <td>1日15,000歩</td> <td colspan="4"></td> </tr> </tbody> </table>	子どもの身体活動・運動の目標					日本体育協会					最低1日に総計して60分以上、歩数で1万歩以上					東京都					1日15,000歩																								
子どもの身体活動・運動の目標																																															
日本体育協会																																															
最低1日に総計して60分以上、歩数で1万歩以上																																															
東京都																																															
1日15,000歩																																															
6 自分たちの運動を見直す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の自分の運動を見直し、健康な生活を送るためにどのように運動を改善していくかを考えてみましょう。</li> <li>○自分は平均歩数は超えているけど、休み時間はあまり運動していない。休み時間には外や体育館で遊ぶようにしよう。</li> <li>○平均歩数を超えてない。体育だけではなく休み時間も運動しよう。</li> <li>○平日は大丈夫だけど、休日に運動していない。ゲームの時間を減らして運動するようにしよう。</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">参考</th> </tr> <tr> <th>他の地域の子どもの歩行数調査結果</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th colspan="2"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23東京都(6年生)</td> <td>13,372</td> <td>9,950</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>H21新潟県(高学年)</td> <td>15,385</td> <td>13,390</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>H23鹿児島県(高学年)</td> <td>14,895</td> <td>10,460</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>	参考					他の地域の子どもの歩行数調査結果	男子	女子			H23東京都(6年生)	13,372	9,950			H21新潟県(高学年)	15,385	13,390			H23鹿児島県(高学年)	14,895	10,460																						
参考																																															
他の地域の子どもの歩行数調査結果	男子	女子																																													
H23東京都(6年生)	13,372	9,950																																													
H21新潟県(高学年)	15,385	13,390																																													
H23鹿児島県(高学年)	14,895	10,460																																													
7 次時の予告をする。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>体育授業の内容と、一日の平均歩行数</th> <th>平均歩数</th> <th>体育なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>持久走(4年生)</td> <td>14,342</td> <td>10,594</td> </tr> <tr> <td>ハーハードル走(5年生)</td> <td>11,241</td> <td>11,361</td> </tr> <tr> <td>サッカー(6年生)</td> <td>14,513</td> <td>12,122</td> </tr> </tbody> </table>	体育授業の内容と、一日の平均歩行数	平均歩数	体育なし	持久走(4年生)	14,342	10,594	ハーハードル走(5年生)	11,241	11,361	サッカー(6年生)	14,513	12,122																																	
体育授業の内容と、一日の平均歩行数	平均歩数	体育なし																																													
持久走(4年生)	14,342	10,594																																													
ハーハードル走(5年生)	11,241	11,361																																													
サッカー(6年生)	14,513	12,122																																													

## II 課題把握・課題解決の活用資料

### ○科学的データの活用①

#### A 児童歩行数データ(曜日別)【課題把握:身近さ】

曜日	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
1	123	124	125	126	127	128	129
2	130	131	132	133	134	135	136
3	137	138	139	140	141	142	143
4	144	145	146	147	148	149	150
5	151	152	153	154	155	156	157
6	158	159	160	161	162	163	164
7	165	166	167	168	169	170	171
8	172	173	174	175	176	177	178
9	179	180	181	182	183	184	185
10	186	187	188	189	190	191	192
11	193	194	195	196	197	198	199
12	200	201	202	203	204	205	206
13	207	208	209	210	211	212	213
14	214	215	216	217	218	219	220
15	221	222	223	224	225	226	227
16	228	229	230	231	232	233	234
17	235	236	237	238	239	240	241
18	242	243	244	245	246	247	248
19	249	250	251	252	253	254	255
20	256	257	258	259	260	261	262
21	263	264	265	266	267	268	269
22	270	271	272	273	274	275	276
23	277	278	279	280	281	282	283
24	284	285	286	287	288	289	290
25	291	292	293	294	295	296	297
26	298	299	300	301	302	303	304
27	305	306	307	308	309	310	311
28	312	313	314	315	316	317	318
29	319	320	321	322	323	324	325
30	326	327	328	329	330	331	332
31	333	334	335	336	337	338	339
32	340	341	342	343	344	345	346
33	347	348	349	350	351	352	353
34	354	355	356	357	358	359	360
35	361	362	363	364	365	366	367
36	368	369	370	371	372	373	374
37	375	376	377	378	379	380	381
38	382	383	384	385	386	387	388
39	389	390	391	392	393	394	395
40	396	397	398	399	400	401	402
41	403	404	405	406	407	408	409
42	410	411	412	413	414	415	416
43	417	418	419	420	421	422	423
44	424	425	426	427	428	429	430
45	431	432	433	434	435	436	437
46	438	439	440	441	442	443	444
47	445	446	447	448	449	450	451
48	452	453	454	455	456	457	458
49	459	460	461	462	463	464	465
50	466	467	468	469	470	471	472
51	473	474	475	476	477	478	479
52	480	481	482	483	484	485	486
53	487	488	489	490	491	492	493
54	494	495	496	497	498	499	500

\*運動習慣調査結果より

#### B 児童歩行数データ(項目別)【課題把握:身近さ】

年齢	1歳未満	2歳未満	3歳未満	4歳未満	5歳未満	6歳未満	7歳未満	8歳未満	9歳未溎	10歳未溎	11歳未溎	12歳未溎	13歳未溎	14歳未溎	15歳未溎	16歳未溎	17歳未溎	18歳未溎	19歳未溎	20歳未溎	21歳未溎	22歳未溎	23歳未溎	24歳未溎	25歳未溎	26歳未溎	27歳未溎	28歳未溎	29歳未溎	30歳未溎	31歳未溎	32歳未溎	33歳未溎	34歳未溎	35歳未溎	36歳未溎	37歳未溎	38歳未溎	39歳未溎	40歳未溎	41歳未溎	42歳未溎	43歳未溎	44歳未溎	45歳未溎	46歳未溎	47歳未溎	48歳未溎	49歳未溎	50歳未溎	51歳未溎	52歳未溎	53歳未溎	54歳未溎	55歳未溎	56歳未溎	57歳未溎	58歳未溎	59歳未溎	60歳未溎	61歳未溎	62歳未溎	63歳未溎	64歳未溎	65歳未溎	66歳未溎	67歳未溎	68歳未溎	69歳未溎	70歳未溎	71歳未溎	72歳未溎	73歳未溎	74歳未溎	75歳未溎	76歳未溎	77歳未溎	78歳未溎	79歳未溎	80歳未溎	81歳未溎	82歳未溎	83歳未溎	84歳未溎	85歳未溎	86歳未溎	87歳未溎	88歳未溎	89歳未溎	90歳未溎	91歳未溎	92歳未溎	93歳未溎	94歳未溎	95歳未溎	96歳未溎	97歳未溎	98歳未溎	99歳未溎	100歳未溎																																																																														
1歳未満	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300

\*運動習慣調査結果より

#### C 都道府県別平均歩行数データ【課題把握・多様性】

都道府県	1歳未満	2歳未満	3歳未満	4歳未満	5歳未満	6歳未満	7歳未満	8歳未満	9歳未溎	10歳未溎	11歳未溎	12歳未溎	13歳未溎	14歳未溎	15歳未溎	16歳未溎	17歳未溎	18歳未溎	19歳未溎	20歳未溎	21歳未溎	22歳未溎	23歳未溎	24歳未溎	25歳未溎	26歳未溎	27歳未溎	28歳未溎	29歳未溎	30歳未溎	31歳未溎	32歳未溎	33歳未溎	34歳未溎	35歳未溎	36歳未溎	37歳未溎	38歳未溎	39歳未溎	40歳未溎	41歳未溎	42歳未溎	43歳未溎	44歳未溎	45歳未溎	46歳未溎	47歳未溎	48歳未溎	49歳未溎	50歳未溎	51歳未溎	52歳未溎	53歳未溎	54歳未溎	55歳未溎	56歳未溎	57歳未溎	58歳未溎	59歳未溎	60歳未溎	61歳未溎	62歳未溎	63歳未溎	64歳未溎	65歳未溎	66歳未溎	67歳未溎	68歳未溎	69歳未溎	70歳未溎	71歳未溎	72歳未溎	73歳未溎	74歳未溎	75歳未溎	76歳未溎	77歳未溎	78歳未溎	79歳未溎	80歳未溎	81歳未溎	82歳未溎	83歳未溎	84歳未溎	85歳未溎	86歳未溎	87歳未溎	88歳未溎	89歳未溎	90歳未溎	91歳未溎	92歳未溎	93歳未溎	94歳未溎	95歳未溎	96歳未溎	97歳未溎	98歳未溎	99歳未溎	100歳未溎
1歳未満	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189																																	

### III 授業の実際【6年③保健】

#### 1 自分たちの運動習慣を知る場面（科学的データの活用①）



授業前に子ども達に活動量計を一週間付けさせ、歩数・活動量・運動時間を測定した。この時間では、曜日別の歩数・活動量・運動時間、学校と放課後の歩数、昼休みの歩数、体育の時間の歩数、それぞれのクラス平均を提示した。

子ども達は平均歩数の数字を見て、「思っていたより歩数が少ない」「運動時間が短いんじゃないかな」と、自分たちの運動習慣を振り返ることができた。そして、運動習慣を見直していくなければならないという課題をもつことができた。

#### 2 自分たちの運動習慣から気付いたことを発表する場面



まずは、自分たちの運動習慣から気付いたことを各自で記入させた。その後の発表では、平日に比べ休日の歩数が少ないと、学校にいる時間より放課後の歩数が少ないと、体育館より外遊びの方が歩数が増えること、放課後外遊びすることで歩数が増える結果となっていることなどに気付いた。

これは、この後の活動で自分たちの運動を見直すよい観点となった。特に、休み時間や放課後に外遊びすると歩数が増えるという点に気付いたことが大きかった。

#### 3 データと比較する場面（科学的データの活用②）



自分たちの運動習慣を見直す観点として、WHOや日本体育協会で示されている子どもの身体活動・運動の目標値を提示した。また、参考資料として、他地域の子どもの歩数に関する研究結果や体育授業の内容による歩数の違いに関する研究結果を提示した。また、雪の多い地域では、スキーが強度や活動量面から見て適していることに触れた。

子ども達は、科学的データとの比較の結果、歩数に関しては目標値を達成しているが他地域よりも少ないと、健康に関する運動には、運動の強度も関係していることなどを理解した。

#### 4 自分たちの運動を見直す場面



##### 子どもの感想より

わたしは部活や運動系の習いごとをしていないのでどうすればいいかと思ったけど、毎日の登下校も中等度の運動になることが分かったのでよかったです。縄跳びをしたり積極的に階段を利用するなど、自分にできることを進んでやっていきたい。

僕は、放課後や休日外へ出ることが少ないので、できるだけ外に出て遊ぶようにしたい。

## IV 考察

### 1 自分たちの運動習慣について知る場面（科学的データの活用①）

授業前に行った運動習慣調査の結果を提示し、課題意識をもたせることをねらいとした。「曜日別の平均歩数」「活動量」「運動時間」の他に「学校と放課後」「昼休み」「体育」の歩行数を提示したことで、様々な視点でデータを分析させることができた。

しかし、「活動量」のとらえ方は子ども達にとって難しく、また、授業でも大きく扱わなかったことから、このデータは見せなかつた方が子ども達も混乱なくデータを分析できたのではないかと考える。何が必要なデータで何が不要かを見極める必要がある。

#### ○課題及び改善の方策

##### ・大学教員からの指導・助言

歩数・活動量・運動時間のデータから考察していったが、データを示す場合は『違い』が大切であるが、それが明確であった。

##### ・指導主事からの助言・助言

データの示し方だが、歩数や時間など違いを分かりやすくすることが大切であるが、今回のデータ「平日と休日」「学校と放課後」など分かりやすかった。

### 2 自分たちの運動習慣から気付いたことを発表する場面

自分たちの運動習慣から気付いたことを、まずは個人で見付けさせ、それをクラスで共有していった。子ども達は、「平日と休日」や「曜日」「学校と放課後」を手がかりとして、それぞれ気付いたことを発表した。

活動1で示したデータが、教師側が気付いてほしい観点別に集計されていたことで、子ども達は自分の運動を見直し課題に気付くことができたのではないかと考える。さらに気付かせたいことが明確になるような提示の仕方の工夫が必要である。

#### ○課題及び改善の方策

##### ・大学教員からの指導・助言

データが違いを明確にしていたので、子ども達も振り返りやすかったのではないか。その意味でも活動1のデータはよかったです。

##### ・指導主事からの助言・助言

電子黒板で示したデータが子ども達の手元にもあれば、いつでもデータを確認することができ分かりやすく、活動もしやすかったのではないか。

### 3 データと比較する場面（科学的データの活用②）

自分たちの運動習慣の課題をとらえ、それを改善していくための観点として、様々な科学的データを提示した。

「歩数の目標値」や「他地域の子どもの歩数」のデータは分かりやすく子ども達の反応もよかったです。しかし、「活動量」や「運動強度」のデータは、子ども達にとって分かりにくかったです。特に「運動強度」は、教師側のとらえも曖昧だったため、後に訂正することとなってしまった。

子どもが目で見て分かりやすい資料、データの精選が必要である。また、改善の観点となるようなデータの精選も今後の課題である。

#### ○課題及び改善の方策

##### ・大学教員からの指導・助言

運動強度のデータに関して、整理が必要である。今日示したデータの中には、間違いもある。球技は、練習や繰り返しによって変わってくるので、強度は一概には言えない。子ども達にとって難しく分かりにくいものなので、例えば、心臓のドキドキによって中高度・高強度を分けてもいいかもしれない。運動強度には個人差があるので、それが分かりやすい。

### 4 自分たちの運動を見直す場面

子ども達は、「歩数の目標値」や「活動量」を観点に改善方法を考えていた。特にこの授業では、放課後や休日の運動に目を向けさせ改善方法を考えさせた。自分たちの運動習慣を見直すよい機会となつたが、考へた改善策を実行していくことが大切である。そのためには、家庭との連携や地域施設やイベントの紹介など、体育以外での取組みも必要となつてくるのではないかと考える。今後、定着のためにどのように取り組んでいくかが課題である。

科学的データとして、「体育授業での歩数」も提示したこととは、次時につながるよい資料であったと考える。

#### ○課題及び改善の方策

##### ・大学教員からの指導・助言

観点を基に改善策をよく考えていた。「登下校の歩数」に目を向けさせれば、土日の改善につながっていくのではないか。

##### ・指導主事からの助言・助言

3年生との違いを考えなければいけない。3年生で歩数や活動量に目を向けたなら、6年生は骨密度や高血圧などの関係に目を向けさせるなど、違いを意識してほしい。

#### 4.2.4 健康教育プログラム授業【6年④体育（4/5） 平成27年1月26日2校時】

##### I 授業構成資料

- (1) 目標 健康な生活を送るために自分たちの運動習慣を見直すことを通して、アドバイスしたり改良したりしながら運動の行い方を工夫することができる。 (思考・判断)
- (2) 展開

学習内容 ・発問や指示	学習活動 ・予想される児童の反応	・活用資料																														
1 前時の保健学習から、自分たちの運動習慣について振り返る。	<p>(科学的データの活用①)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前時に自分たちの運動習慣を見直し、どんなことが大切でしたか。</li> <li>○休み時間にあまり運動していないから、体育だけではなく休み時間には外や体育館で遊ぶようにすることで、歩数や活動量が増える。</li> <li>○休日にも運動すること。</li> <li>○1日の目標は、歩数が1万5千歩、時間が1時間。</li> <li>○体育の授業内容でも、歩数は変わってくる。</li> </ul>	<p>・科学的データの活用①</p> <p><b>6年1組の運動の様子(平均)</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>曜日</th> <th>学 校</th> <th>放課後</th> <th>昼休み</th> <th>体 育</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月</td> <td>7,318</td> <td>3,407</td> <td>1,350</td> <td></td> </tr> <tr> <td>火</td> <td>7,021</td> <td>3,920</td> <td>1,422</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>7,214</td> <td>5,613</td> <td>665</td> <td>1,793</td> </tr> <tr> <td>木</td> <td>6,349</td> <td>3,976</td> <td>(観察)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金</td> <td>6,514</td> <td>3,845</td> <td>779</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	曜日	学 校	放課後	昼休み	体 育	月	7,318	3,407	1,350		火	7,021	3,920	1,422		水	7,214	5,613	665	1,793	木	6,349	3,976	(観察)		金	6,514	3,845	779	
曜日	学 校	放課後	昼休み	体 育																												
月	7,318	3,407	1,350																													
火	7,021	3,920	1,422																													
水	7,214	5,613	665	1,793																												
木	6,349	3,976	(観察)																													
金	6,514	3,845	779																													
2 学習課題を把握する。	<p>健康な生活を送るための運動プログラムを考えよう。</p>	<p>参考</p> <p>○他の地域の子どもの歩行教調査結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地 域</th> <th>男 子</th> <th>女 子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23東京都(6年生)</td> <td>13,372</td> <td>9,950</td> </tr> <tr> <td>H21新潟県(5年生)</td> <td>15,385</td> <td>13,390</td> </tr> <tr> <td>H23広島県(5年生)</td> <td>14,875</td> <td>10,480</td> </tr> </tbody> </table> <p>○体育授業の内容と、一日の平均歩行数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>体育授業内容</th> <th>平均歩数</th> <th>体育なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>持久走(4年生)</td> <td>14,342</td> <td>10,894</td> </tr> <tr> <td>ハーモル走(5年生)</td> <td>11,241</td> <td>11,361</td> </tr> <tr> <td>サッカー(6年生)</td> <td>14,513</td> <td>12,122</td> </tr> </tbody> </table>	地 域	男 子	女 子	H23東京都(6年生)	13,372	9,950	H21新潟県(5年生)	15,385	13,390	H23広島県(5年生)	14,875	10,480	体育授業内容	平均歩数	体育なし	持久走(4年生)	14,342	10,894	ハーモル走(5年生)	11,241	11,361	サッカー(6年生)	14,513	12,122						
地 域	男 子	女 子																														
H23東京都(6年生)	13,372	9,950																														
H21新潟県(5年生)	15,385	13,390																														
H23広島県(5年生)	14,875	10,480																														
体育授業内容	平均歩数	体育なし																														
持久走(4年生)	14,342	10,894																														
ハーモル走(5年生)	11,241	11,361																														
サッカー(6年生)	14,513	12,122																														
3 健康のための運動について理解する。(科学的データの提示②)		<p>・科学的データの活用②</p> <p><b>運動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動時間向上</li> <li>・競技に特化</li> <li>・高強度</li> <li>・休むときは休む</li> <li>・やり過ぎの傾向</li> </ul> <p>運動時間・強度・頻度に違いが出てくる</p> <p><b>健康のための運動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動時間 … 一日60分(連続でなくてもよい) 10分程度を繰り返し行う</li> <li>・運動強度 … 中等度(心地よい、やや座切れ する、少し汗ばむ)から高強度 (息がはずむ、きつい、汗ばむ)の 運動</li> <li>・運動頻度 … 一日60分、1万歩を継続</li> </ul> <p><b>体力とは…</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持久力 → 20mシャトルラン</li> <li>・筋 力 → 握力、上体起こし</li> <li>・敏捷性 → 反復横跳び</li> <li>・柔軟性 → 長座体前屈</li> </ul>																														
4 グループで普段からできる運動について考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループで運動を考えてみましょう。体力を高める運動の資料も掲示してますので、活用してください。</li> </ul>	<p>【課題把握：身近さ、指標性】</p> <p>【課題把握：知識理解】</p>																														

## Ⅱ 課題把握・課題解決の活用資料

### ○科学的データの活用①

## A 児童歩行数データ(項目別)【課題把握：身近さ】

\*運動習慣調査結果より

### C 他地域の子どもの歩行数【多様性】



\* 『発育発達研究第51号』より

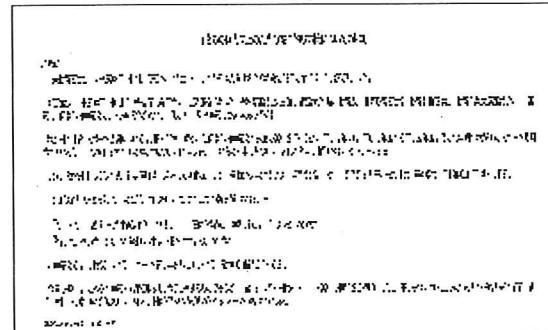
### ○科学的データの活用②

## A 身体活動・運動の目標【多様性】



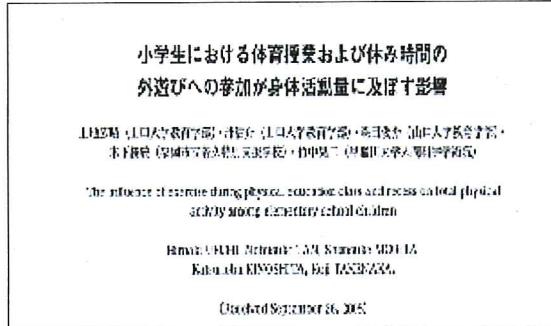
\*日本学術会議『子どもを元気にする運動・スポーツの適正実施のための基本指針』より

## C 体力の定義【多様性：知識理解】



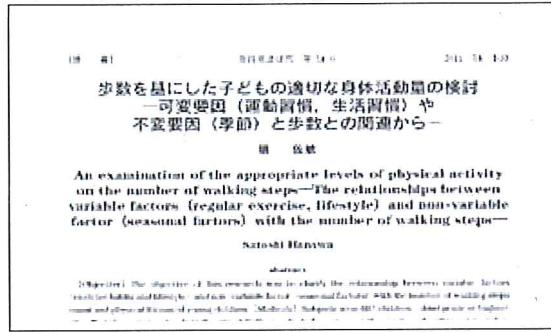
\*文部科学省『子どもの体力向上のための総合的な方策について(答申)』より

## B 体育授業の内容と平均歩行数【多様性】



\* 『山口大学教育学部研究論叢』より

## D 他地域の子どもの歩行数【多様性】



\* 『発育発達研究第 54 号』より

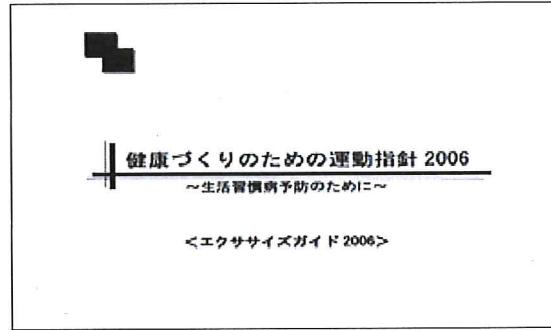
10. The following table summarizes the results of the study. The first column lists the variables, the second column lists the estimated coefficients, and the third column lists the standard errors.

子どもを元気にする  
運動、工作、遊びの提案



\*日本学術会議『子どもを元気にする運動・スポーツの適正実施のための基本指針』より

## B MET'S表【多様性・深化】



\*厚生労働省『健康づくりのための運動指針 2006』より

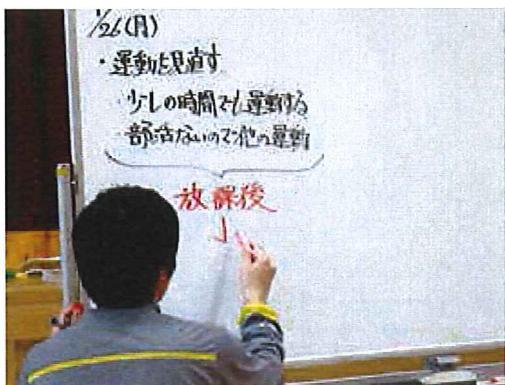
## D 体力を高める運動資料【多様性】



\*文部科学省  
『学校体育実技  
指導資料第7集  
—体つくり運動—』

### III 授業の実際【6年④体育】

#### 1 自分たちの運動習慣について振り返る場面（科学的データの活用①）



前時（保健）の振り返りから、再度自分たちの運動習慣の集計表を提示し、見直し案を振り返った。特に、放課後の改善案を考えたことを押さえ、本時では体育授業の改善案を考えることを理解させた。前時でも提示した体育授業における歩数のデータを使い、体育の内容でも違うこと、本時では体力を高める運動について運動プログラムを作成することを確認した。

子ども達は、前時までの学習をよく理解し、積極的に発言することができていた。また、データから自分たちの体育の歩数が少ないことも理解できていた。

#### 2 健康のための運動について理解する場面（科学的データの活用②）



運動プログラムを作成する前に、「健康のための運動」について共通理解を図った。これは、健康教育プログラムを始める前に行なった事前アンケートで、運動に関する知識が乏しいことや運動プログラムが部活の延長のようにならないようにするためにある。

「健康のための運動」と「競技力向上のための運動」との違いや必要な運動時間・運動強度・運動頻度についてとらえさせることができた。また、同じくアンケートで理解が低かった「体力」の要素についても共通理解を図り、体力を高める運動と関連させることができた。

#### 3 グループで運動を考える場面



5～6人の6グループに分け、運動プログラムを作成させた。高めたい体力を明確にし、そのような運動をするのか、その際の工夫は何かを記載できるワークシートは配布し活動させた。また、一人一人に活動量計を付けさせ、運動前後の歩数をカウントさせ活動量の手がかりとさせた。

それぞれのグループで話し合いながら、試行錯誤して運動プログラムを作成する姿が見られた。考えた運動は、縄跳びを使った持久力を高める運動やボール・ラダーを使って巧みな動きを高める運動、自重を使っての力強い運動などである。



運動プログラムを作成する際に、これまでの体育で扱った運動や体力を高める運動例をまとめたものを掲示した。体力を高める運動例は、「体の柔らかさ」「巧みな動き」「力強い動き」「動きを持続する」4つの観点に分けてまとめたものである。

子ども達は、運動プログラムを作成する前や試しの動きの途中の確認などで活用している姿が見られた。また、基本の動きに自分たちで工夫を加え、発展させた運動を考えているグループも見られた。資料の活用は有効であったと考えられる。



## 4.2.5 健康教育プログラム授業【6年⑤体育 (5/5) 平成27年1月28日2校時】

### I 授業構成資料

- (1) 目標 健康な生活を送るために自分たちの運動習慣を見直すことを通して、アドバイスしたり改良したりしながら運動の行い方を工夫することができる。  
 健康な生活を送るために何が大切なことを、これまでの学習から理解することができる。  
 (思考・判断)  
 (知識・理解)

### (2) 展開

学習内容 学習活動 ・発問や指示 予想される児童の反応	・活用資料																																																															
1 学習課題を把握する。(科学的データの活用①)  健康な生活を送るための運動プログラムを考えよう。	<p>・科学的データの活用①</p>  <p><b>運動</b></p> <p>健康</p> <p>運動方向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一日60分</li> <li>一日1万歩</li> <li>週3回は中等度</li> </ul> <p>・競技に特化</p> <p>・高強度</p> <p>・休むときは休むから高強度</p> <p>・やり過ぎの傾向</p> <p>運動時間・強度・頻度に違いが出てくる</p>																																																															
2 前時に考えた運動をそれぞれのグループで整理して、発表の準備をする。	<p>・運動のための運動</p> <p>・運動時間 … 一日60分(連続でなくともよい) 10分程度を繰り返し行う</p> <p>・運動強度 … 中等度(心地よい、やや息切れする、少し汗ばむ)から高強度(息がはずむ、きつい、汗ばむ)の運動</p> <p>・運動頻度 … 一日60分、1万歩を維持</p>																																																															
3 それぞれのグループが考えた運動について、改良点や留意点について交流する。  各グループで作った運動をやってみて、何かアドバイスや改良することはできないかと考えてみましょう。  ○縄跳びは歩数も増えて体力も付くからいいと思うけど、ただ跳んでるだけではつまらないから何かと組み合わせてみればいいんじゃないかな。 ○馬跳びは、筋力も体力も付くからいいね。競争したらもっと楽しいんじゃないかな。 ○組み合わせて運動するのはいい考えだね。違う組み合わせも楽しそうだから、いろいろ考えてみよう。	<p>・体力とは…</p> <p>・持久力 → 20mシャトルラン</p> <p>・筋力 → 握力、上体起こし</p> <p>・敏捷性 → 反復横跳び</p> <p>・柔軟性 → 長座体前屈</p>																																																															
4 これまでの学習を振り返る。(科学的データの活用②)  これまで学活や家庭科、保健で健康について考えてきましたが、学習を振り返り健康について自分の考えをまとめてみましょう。  ○青森県が短命なのは、生活習慣病が主な原因であることが分かった。生活習慣病にならないためには普段から食事に気を付け、運動も行わなければならぬ。自分はこれまで食事のバランスを考えてなかつたり、運動もあまりしてなかつたりしたことが分かった。これからは、食事、運動に気を付け、健康な生活を送っていきたい。	<p>・科学的データの活用②</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center; background-color: #e0e0e0;">平均寿命の推移</th> </tr> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">[男性]</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">[女性]</th> </tr> <tr> <th>年齢</th> <th>平成7年</th> <th>平成12年</th> <th>平成17年</th> <th>平成22年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>長野県</td> <td>長野県</td> <td>長野県</td> <td>長野県</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>福井県</td> <td>福井県</td> <td>滋賀県</td> <td>滋賀県</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>熊本県</td> <td>鹿児島県</td> <td>沖縄県</td> <td>沖縄県</td> </tr> <tr> <td>47</td> <td>青森県</td> <td>青森県</td> <td>青森県</td> <td>青森県</td> </tr> </tbody> </table> <p>6年1組の運動の様子(平均)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>曜日</th> <th>学校</th> <th>放課後</th> <th>昼休み</th> <th>体育</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月</td> <td>7,318</td> <td>3,407</td> <td>1,350</td> <td></td> </tr> <tr> <td>火</td> <td>7,021</td> <td>3,920</td> <td>1,422</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>7,214</td> <td>5,613</td> <td>665</td> <td>1,793</td> </tr> <tr> <td>木</td> <td>6,349</td> <td>3,976</td> <td>(観劇)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金</td> <td>6,514</td> <td>3,845</td> <td>779</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	平均寿命の推移				[男性]		[女性]		年齢	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	1	長野県	長野県	長野県	長野県	2	福井県	福井県	滋賀県	滋賀県	3	熊本県	鹿児島県	沖縄県	沖縄県	47	青森県	青森県	青森県	青森県	曜日	学校	放課後	昼休み	体育	月	7,318	3,407	1,350		火	7,021	3,920	1,422		水	7,214	5,613	665	1,793	木	6,349	3,976	(観劇)		金	6,514	3,845	779	
平均寿命の推移																																																																
[男性]		[女性]																																																														
年齢	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年																																																												
1	長野県	長野県	長野県	長野県																																																												
2	福井県	福井県	滋賀県	滋賀県																																																												
3	熊本県	鹿児島県	沖縄県	沖縄県																																																												
47	青森県	青森県	青森県	青森県																																																												
曜日	学校	放課後	昼休み	体育																																																												
月	7,318	3,407	1,350																																																													
火	7,021	3,920	1,422																																																													
水	7,214	5,613	665	1,793																																																												
木	6,349	3,976	(観劇)																																																													
金	6,514	3,845	779																																																													
5 健康プログラムについてまとめる。	【指標性】																																																															